

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、高丘圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年8月26日（水）9時30分から11時まで
参加者	委員：13人 事務局：1人 その他：9人（高齢者福祉課2人、介護保険課1人、中区長寿保険課1人、地域包括支援センター佐鳴台3人、市社協2人）
場所	北部協働センター2階 2・3講座室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 協議体会長 *令和2・3年度会長として 委員承諾 高齢者福祉課医療・推進担当課長 市社協浜松地区センター長</p> <p>3. 自己紹介 新メンバーのみ紹介</p> <p>4. 協議内容</p> <p>①令和元年度年間報告について 生活支援コーディネート業務 和合圏域第2層年間報告書にて説明</p> <p>②令和2年度年間計画について 生活支援体制づくり協議体会議 実施予定表にて説明</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛期間中の過ごし方と対応について</p> <p>【萩丘中地区】</p> <p><u>自治会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老会中止。記念品配布。（幸） 敬老会規模を縮小（100名→50名）して式典のみ開催。（小豆餅） ・防災訓練中止。資料配布。 防災訓練役員のみで行う。（泉） ・秋まつり、体育祭、ラジオ体操中止。 ・コロナ感染者の情報（疑い？）を自治会長宅へ電話してくる人がいる。 <p><u>民生委員児童委員</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5、6月活動なし。今は気をつけながら活動開始。 →孤立死2件、救急搬送2件（地域住民の協力） ・役員等接触アプリの普及 ・コロナのためのチェック表作成⇨萩丘小、こころカフェの様式参考 →各家庭へ配布予定（個人で注意する）。企業へも紹介したい。 ・民生委員のためのチェック表作成中。 ・人が来るのを待っている高齢者は多い。他者との関わりが減っている。 <p><u>シニアクラブ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動なし。役員会のみ開催。（幸） ・ロコモ中止。→利用者からの反応なし。 ・各自自粛している。 <p><u>地区社協</u></p>

- ・実施していない。
- ・家事支援で草取りの依頼（2件）あるも、暑さ熱中症予防で断った。
- ・家事支援の在り方について、コロナ禍での対応も含めて考えたい。

坂の上利用者連携支援センター

- ・4、5、6月中止。7月から認知症カフェ再開。約10名参加。
→8月は市内のクラスターにより中止。

【葵・高丘地区】

自治会

- ・12月まですべての行事中止。
→紙面上で決める→コミュニケーションが取りづらい。
- ・質問等があれば地区で集約。班長会は実施。
- ・秋まつり、敬老会中止。
→葵地区は敬老会実施予定（2週間前に体調確認）
- ・コロナウイルス感染者＝小学生と働く人
→医療関係者へ誹謗中傷⇔心配り、気配り

民生委員児童委員

- ・熱中症予防
- ・コロナ給付金の期限迫っている→支援へ

シニアクラブ

- ・会員44名。10～20分集まり体調確認。
- ・ノイローゼ予防＝顔を合わせる。
- ・班長は体調把握に努める。

地区社協

- ・12月まで行事中止。
- ・年末のクリスマスプレゼントは配布予定。
- ・フードドライブ事業（協働センターへ箱を置く）R3.1月～
- ・子どもの貧困→小学校の先生に現況を聞く。
- ・サロンは来年3月まで中止予定だった。問い合わせ多い。
→メンタルケアが大切。

地域包括支援センター

- ・4月は相談が少なかったが徐々に戻っている。
- ・施設→面会制限、リモート面会。
- ・デイ→体調確認して利用。
- ・5月は少し相談減→不要な訪問はしない。電話対応。
- ・温度感が違う→新しい訪問、サロンの在り方。
- ・認知症の相談が増えている。
→認知症サポーター養成講座を萩丘小で10月か11月に開催予定

	<p><u>行政</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の面会制限によるストレスがある。 ・家にいることが多くなり家族間のトラブルが増えた。 ・外出をしないことによる下肢の筋力低下。 ・市内は施設のクラスターなし。 ・サービス事業所も十分注意している。 <p><u>市社協</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付業務が増加、延長する人も増えている。 →特例貸付 1000 件以上。外国人の相談者が多い。 ・訪問が難しい状況。 ・7月から活動再開。サロンに参加しづらい。 <p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何日も話をしない=健康を損ねる →散歩、言葉がけ、3密を避けて顔合わせる ・「学習支援」おにぎり提供はなし=お菓子の差し入れ ・「ささゆり会」花の植え替え実施 ・「青少年サポートセンター」4回に分けて野菜収穫 ・発見機能→問題が大きくなってから連絡 ・高齢者サロンなど感染防止策を徹底する。 ・家庭内の手指消毒、外出時のマスクは必須。 →感染しない、感染させないこと <p>④高齢者のフレイル対策について 地域包括支援センター高丘より 新型コロナウイルス=恐ろしいウイルス 行動による感染→飛沫感染、接触感染 *正しく理解する。 簡単にできる体操を実践</p> <p>5. 次回開催日程 11月24日(火) 9時30分～11時 北部協働センター2階 第2・3講座室</p> <p>6. 閉会 協議体副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>コロナ禍での地域資源、地域活動の現状把握について話し合う。</p>